



木のお医者さんが語る 樹と人

心
あ
っ
た
か
ニ
ュ
ー
ス

桜の優しいピンク色が心に
あたたかさを運んでくれる季
節となりました。今号はさくら
にちなんだニュースをお届けし
ます。推定樹齢2000年！
日本最古の一本桜「山高神代桜」
を蘇らせた“桜の名医”が
語る、樹木医のやりがいとは？
「ヤフーニュースより」樹木医と
いう仕事があるそうです。身近
にある樹木や公園、街路樹、個人
の家、神社やお寺、天然記念物に
指定されている樹木などの保
全していく。現在認定されてい
る樹木医の人数はおよそ
3200人。一般財団法人日本
緑化センターによって認定され
た人が樹木医となります。樹木
医である和田博幸さんは、日本
三大桜に数えられ、天然記念物
に指定された山梨県北杜市に
ある山高神代桜の樹勢回復を
担当するスーパードクター。驚
くことに桜の寿命は概念とし
てないのだそう。挿し木や接ぎ
木をしたりすると、今まで根が
なかったところから根が出て

きたり、細胞が変わり、常に入れ替
わりができるので、動物と違って寿
命はないんです。ただ、植えた環境
などによって木が傷んでしまうこ
とや、病気になって枯れることもあ
るので、人が作った寿命みたいなも
のと語る。山高神代桜の樹勢回復は、
根の調査で植物寄生線虫によって
水や養分の吸い上げが悪くなつて
しまっていて、枝が枯れてくる病気
にかかっていたことがわかり、樹齢
2000年の桜を蘇らせるべく委
員会を立ち上げ、委員のみなさん
に僕らが調査したデータをお渡し
して意見交換をしてもらって。4年
かけて“根元の土を全部入れ替え
ましょう”となつて、その工事を地
元の樹木医さんと一緒におこない
ました。最初の10年ぐらいいは良
くなったのか悪くなったのか分から
ないんですけど、地元のみなさんも
夏の暑い日は水をかけてあげるな
ど、いろいろ参加してくれるようにな
つて。それで徐々に木の勢いが盛
り返ってきて、今は立派になつてい
ます」桜の存在に対しては、「桜は、
日本人がすごく昔から慣れ親しん
だ樹木ですし、関東地方近辺は、4
月の年の変わり目のときに咲いて、
それぞれの年の心のなかに染み込

んでいるものだと思います。それとは違つ
て、古い時代から作ら
れてきた八重咲きの
桜というのがあつて、
これは1つの文化財、
芸術品だなど思つて
いるので、そういうの
を見るのも、1つの楽
しみだと感じていま
す」また、植物から学ぶ
ことには「植物は自分
で移動ができないぶ
ん、その環境下で自分
の体を変えていつた
り、対応を変えていつ
たりしなければいけ
ないんですね。その見
事さがあるなど思
います」と語った。

編集後記

樹の寿命を手助けす
る人との関係があり
ました。環境で自分を
変えていく力強さに
私達は惹かれて、長く
見ていたくなるのか
もしれないと思いま
した。